

[勝ち残る整備事業者のための情報誌]

Published by  PROTO RIOS

M&A

月刊 [エムエスアール]

6月号

メンテナンスショウプレポート

令和6年5月5日発行 (毎月5日発行)

特集①

物流の2024年問題と ジャパントラックショー2024

特集②

大型車整備関連機器

[連載]

実践 M&A こんな時どうする? / 車販取り組みのための基礎工事
現役マネージャーいづみの 細うで繁盛記 / 本誌編集長の 業界徒然草

人とクルマに優しい、
サービスの未来空間を創造。

BANZAI[®]

移動式高所作業台

モバイルプラットフォーム

型式:UMP-120-R(L)

PAT.P

業界唯一

車両の**保安基準高さ3.8m**(高さ指定道路4.1m)

を超えて高所作業が可能

電気を一切使用しない**エア駆動**を採用



作業床最高高さ
4,400mm

▲ 安全に関するご注意 ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。【型式・仕様・製品外観は予告なく変更することがあります。】

BANZAI

株式会社 **バンザイ**

■本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19
TEL 03(3769)6880(代) FAX 03(3456)4691
<https://www.banzai.co.jp> E-mail: eigyo@banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001

品質管理規格・環境管理規格の国際規格であるISO9001-ISO14001を、顧客第一主義を信条にお客様のみなさまを大切にし、お客様満足度の向上を掲げてまいります。

ISO14001 準拠

SEMINAR

プロトriosがお届けするセミナーのご案内



リモート研修

各テーマ所要時間

45分～

費用

55,000 円～

(税込)

Web会議システムを使って研修を実施します。移動の時間や手間を省き、お好きな場所でご受講できます。

テーマ

- 電子制御装置整備と業界への影響
- EV・HVの整備ポイント
- 事故車見積りの基礎
- 新技術と車体修理の変化
- コネクテッドカー・EDRの概要など



集合研修

各テーマ所要時間

2時間程度

費用

143,000 円～

(税込)

会場などで対面式研修を行います。その場で疑問点を解消でき、意見交換や情報共有などで理解が進みます。

テーマ

- 業界の現状と今後
- OBD検査と故障診断機の活用
- レーパーレート算出方法
- 整備工場の法令対応
- 車体修理工場の法令対応など



労働安全衛生法 特別教育

各テーマ所要時間

1日 (6時間) ～

費用

220,000 円～

(税込)

学科に関してはリモート研修も可能です。学科のみ修了された方々へ、実技受講コースも用意しています。

テーマ

- 電気自動車等の整備の作業に係る特別教育 (学科6時間・実技1時間)
- 巻き上げ機運転者特別教育 (学科6時間・実技4時間)



コース研修

各テーマ所要時間

1日 (6時間) ～

費用

220,000 円～

(税込)

1日以上を基本とし、ご要望に応じた研修をご用意できます。複数拠点、複数日の開催にも応じます。

テーマ

- 事故車見積り実践講座
- エイミング作業の実践講座
- 新人～ベテラン技術者研修
- 経営者向けマネジメント
- 作業効率の向上と改善など

研修テーマはご要望に合わせてカスタマイズに応じます。上記の所要時間および費用は、1講座あたりを指します。

セミナーに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



[ホームページ]
<https://www.proto-rios.co.jp/>



[BSRweb]
<https://bsrweb.jp/>

[勝ち残る整備事業者のための情報誌]

MSR

月刊メンテナンスショップレポート

令和6年5月5日発行

6月号

¥0



【表紙写真】

施設・設備ともに一新し、エイミング作業に注力するサンオート桑原。「伊賀エイミングセンター」の襲名を目指す!

 Webで閲覧できます

MSRは全国の配布協力業者からお届けします。お近くに配布協力業者がない場合、下記より閲覧できます。

<https://bsrweb.jp/>
メンテナンス
ショップレポート

発行人 小川直紀
編集長 八木正純
編集・制作スタッフ 市井康義、長谷川明憲
樋口祥三郎、高橋美穂
青山竜、木下慶亮
武井宏樹、加戸利一
取材協力 泉山大（プロジェクトD）

発行所 株式会社プロトリオス

[東京編集課]

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3

TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

[大阪編集課]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-3-7

TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

印刷所 共立印刷株式会社

特集

08 物流の2024年問題と
ジャパントラックショー2024

特定整備認証制度の本格スタートと時を同じくして施行となった、いわゆる2024年問題。概略をつかむとともに、その解決策をメンテナンス事業者も見いだすべく、ジャパントラックショー 2024を紹介する。

10 フロアマップ

12 みどころ紹介

14 出展者一覧

15 セミナー一覧

アルティア
イサム塗料
イヤサカ/エムケー精工
バンザイ
ロックペイント

20 大型車整備関連機器

昨今、物流需要が高まる一方で、2024年問題が生じるなど、厳しい環境下にある物流業界。車両のメンテナンスも業務効率化で、時間当たりの処理台数をアップしたい。ここでは、大型車整備に役立つ機器・製品たちをピックアップする。

Topics

06 国土交通省

ビッグモーターに対する行政処分等及び同種事案の
再発防止策を発表

30 トヨタ自動車

全国トヨタ販売店サービススキルコンテスト(一般競技)を開催

情報

16 新製品情報

17 情報 BOX

23 事故車等の排除業務 有償運送許可のおはなし①

連載記事

26 車販取り組みのための基礎工事

寄稿 チームエル 関友信

27 現役マネージャーいづみの細うで繁盛記

寄稿 ヤマウチ 人見いづみ

28 実践 M&A こんな時どうする？

寄稿 フォーバル 寺越基格

29 本誌編集長の 業界徒然草

※工場ルポルタージュ、みんなの修理事例はお休みです

国土交通省

ビッグモーターに対する行政処分等 及び同種事案の再発防止策を発表

1. ビッグモーターに対する行政処分等

国土交通省では、昨年7月以降、ビッグモーターの全国の130事業場に対して監査を実施し、法令違反が認めら

れた事業場に順次、行政処分等を実施した。^{※1}

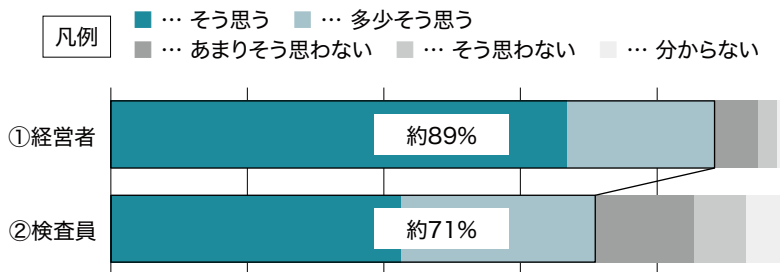
また、一連の監査において、同社の本社に関して認められた問題は右ページの通り。同社では、指摘された法令違反等を踏まえ改善対策が進められて

おり、国土交通省では、今後その状況を継続的に確認するとしている。

※1 各事業場に対する行政処分の詳細は、「国土交通省ネガティブ情報等検索サイト」で公表している。
<https://www.mlit.go.jp/nega-inf/cgi-bin/search.cgi?jigyoubunya=jidousyaseibi>

アンケートの調査結果

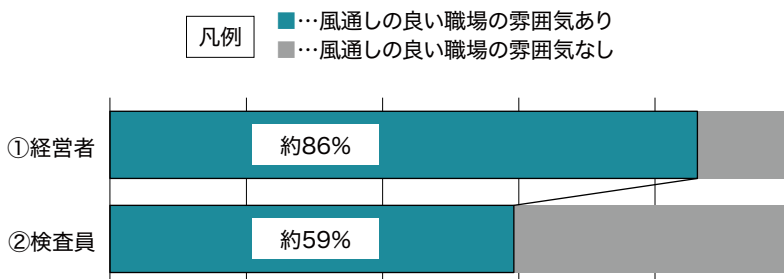
検査員の裁量権の有無に関する認識



検査員の裁量権を確保する施策例

- 会社規定で検査員の責任・役割を明確化
- 全社員に対する検査員の責任・役割等に関する教育・研修等

風通しの良い職場であるとの認識有無



風通しの良い職場を醸成するための施策例

- 朝礼等でのコミュニケーションの実施
- メンター制度や相談窓口の設置等

2. 同種事案の再発防止のための検討

(1) 車体整備の消費者に対する透明性確保策

有識者、関係団体、現場の自動車整備士の意見を聴きながら、業界の商慣行や先進的な取組事例を調査しつつ、車体整備の消費者に対する透明性確保策について検討を行った。

その結果、顧客に対する作業内容の説明、作業の前後の画像の保存等を内容とする「車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン」を取りまとめた。

(2) 自動車整備工場に対するより効果的な監査のあり方

ビッグモーターに対する監査を踏まえ、監査担当職員からなる「特別検討チーム」を設置し、自動車整備工場に対するより効果的な監査のあり方について検討を行った。

その結果、本社に起因する法令違反が確認された場合、関連する事業場に対して一括して監査を行うこと等を内容

とする報告書^{※2}を取りまとめた。

※2 監査のノウハウに関する事項を含むため、内容は非公表

(3) 自動車検査員の働き方の実態調査

指定自動車整備工場において自動車の検査を行う「自動車検査員」の働き方の実態把握のため、①指定自動車整備工場の経営者（回答者1,054人）及び②自動車検査員（同4,158人）の両方に、任意のアンケート調査を実施した。

調査結果によると、自動車検査員に裁量権が「ある」とする回答は、経営者（89%）より自動車検査員（71%）のほうが低かった。また、風通しの良い職場の雰囲気「ある」とする回答は、経営者（86%）より自動車検査員（59%）のほうが低かった。そのほか、「自動車検査員の責任・役割について、他の社員に十分に認識されていない」との声があった。

本調査結果を踏まえ、全国で開催する経営者セミナー等の機会をとらえて、以下の対策の実施を経営者に促すとしている。

- ① 自動車検査員の裁量を明記するなど社内規定の整備
- ② 経営層と自動車検査員の双方向コミュニケーションの促進
- ③ 全社員を対象に、自動車検査員の役割を含む法令遵守に関する教育・研修の実施

ビッグモーターの当社に関して確認された問題

(⇒は改善策のポイント)

① 当社による事業場管理の機能不全

⇒ 業務に関する社内規程の整備。不正防止のためのシステム改修。内部監査制度の整備

② 各事業場との連携不備

⇒ 整備・钣金部門と営業部門の連携会議の開催
監査本部、エリア長、事業場管理責任者の会議の開催

③ 本社の問題に起因する各事業場の管理の機能不全

⇒ 各事業場の仕事量の見直し。自動車検査員等に対する服務教育の定期的な実施

④ 社内監査の形骸化

⇒ 代表取締役副社長直轄の「監査本部」の設置。定期監査の実施。従業員向け相談窓口の設置

⑤ 内部通報制度の不存在

⇒ 内部通報規程の整備。従業員向け相談窓口の設置（再掲）

⑥ ハラスメントへの対応の不備

⇒ 内部通報制度及び相談窓口の設置（再掲）。従業員に対するハラスメント防止の教育

⑦ 降格人事の頻発

⇒ 人事労務関係の社内規程の整備。これらに基づく公平・公正な人事の実施

⑧ 利益追求の企業風土に根ざした業績目標と給与体系

⇒ 本社と工場長が、整備士数等を踏まえ、事業場の業績目標を協議により見直す枠組みの構築
経常利益と連動した降格ルール及び仕事の引き受け量等に応じたインセンティブ制度の廃止

⑨ 本社钣金部門（PT）が損傷の存在・範囲を誤認させる写真の撮影指示

⇒ PTを廃止し、各事業場の钣金部門が見積り等を行う体制に戻した
不正が疑われる修理について、損害保険会社との協議により保険の再調査を順次実施中
不正請求が認められた場合には、法律に則り適正に対処

⑩ 店舗の急拡大を背景とした社内教育・研修体制の不備

⇒ 3カ月に1回、全社的なコンプライアンス研修を実施
監査本部による社内試験を実施し、合格するまで自動車検査員業務を行わせない
整備業務のマニュアルを作成・配布し、その通りに整備作業が行われているか継続的に確認
自動車検査員等の計画的な育成のため、年間教育計画を策定し、教育を実施

物流業界の2024年問題と ジャパントラックショー2024



特定整備の一方で始まった 2024年問題

自動車整備業界ではこの4月より特定整備認証制度がいよいよ本格的にスタートした。

時を同じくして、物流業界においては、4月から働き方改革関連法施行により時間外労働の上限（休日を除く年960時間）規制等が適用された。この規制は、「2024年問題」と称され、とりわけ他の業態よりも労働時間が長いとされる物流事業については、労働時間が制限されることで、①1日に運ぶことができる荷物の量が削減、②トラック事業者の売り上げ・利益の減少、③ドライバーの収入の減少、④収入の減少による担い手不足などが懸念されている。

物流業界全体に及ぼす影響として、ドライバー不足や輸送力の低下が懸念されており、2030年には輸送力の供給不足により「全国で約35%の荷物が運べなくなる」*と試算されている。

2024年問題への対策ができず、改善基準告示に違反してしまうと、トラック事業者は貨物自動車運送事業法により警告、車両停止、事業停止等の行政処分が科せられる。

そして社内の問題だけにとどまらず、トラック事業者の法令違反に荷主の関与が判明した場合、荷主勧告が発動され、荷主名も公表される。

これらの問題を解決するためには、トラック事業者をはじめとする関係者の努力だけでは限界があるため、2024年問題で懸念される課題を解決し、社会経済活動に必要な不可欠な物流を維持していくためには荷主企業や物流を利用する関係者も一体となって考え、取り組んでいくことが重要となる。

1分1秒でも有効に活動するため 大型車整備もますます重要に

今回の2024年問題に大きく関与する事業者は物流事業者及び荷主企業ではあるが、当然、それを支える整備事業者とて無関係とは言い切れない。

まず、整備・点検で車両を預かる期間を従来以上に極力短くすることが求められる。営業用車両は、預かり期間＝休業期間なわけで、この時間をいかに短くし、なおかつ正確な作業をすることがこれまでも求められてきた。

ましてや、今回の法改正によって、ただでさえ営業時間が、従来と比べて限られることは必至で、さすがにメンテナンスフリーというわけにもいかないが、1回の入庫でいかに長くその車両が活動できるかをよりいっそう問われることになる。

すなわち、速く正確な作業を実現するために、作業の効率化が求められ、人員配置の見直しや増員、効率化機器の導入検討が見込まれる。

また、2024年問題の影響としてもう一つ、物流事業者の売り上げ減少の可能性も見逃せない。すべての事業者の売り上げが減少すると決まったわけではないが、仮にそうだとすれば様々な企業努力が求められる。

その結果として、安全に直結する部

| | 改正前 | 改正後 |
|----------|---|---|
| 1年の拘束時間 | 3,516時間 | → 原則：3,300時間 |
| 1カ月の拘束時間 | 原則：293時間 最大：320時間 | → 原則：284時間 最大：310時間（1年の拘束時間が3,400時間を超えない範囲で年6回まで） ※ 284時間を超える月が3カ月を超えて連続しないこと ※ 月の時間外・休日労働が100時間未満となるよう努める |
| 1日の拘束時間 | 原則：13時間以内 最大：16時間以内 ※ 15時間超は1週間2回以内 | → 原則：13時間以内 最大：15時間以内 ※ 14時間超は1週間2回以内 |
| 休息时间 | 継続8時間以上 | → 継続11時間を基本とし、9時間下限 |
| 連続運転時間 | 4時間を超えないこと ※ 30分以上の休憩等の確保（1回10分以上で分割可） | → 4時間を超えないこと ※ 30分以上の休憩の確保（1回おおむね10分以上で分割可） ※ 「1回おおむね10分以上」とは、10分未満の運転の中断が3回以上連続しないこと ※ 運転の中断は、原則休憩とする |

分なので考えたくないものの、メンテナンスコストについての相談を受ける機会がないとも言い切れない。

だからといって、「売り上げが厳しいので）下げてください」→「分かりました」というわけにもいかないし、逆に「下げられません」と突っぱねるのは簡単なものの、大事な客を失うのも痛い。

恐らくなかなか答えの出ない問いだとは考えるが、そこはやはり関係各社みんなで解決すべき2024年問題。整備事業者も企業努力をすべきであり、それはすなわち繰り返しになるが作業の効率化を図って所要時間を短くし、時間単価を下げる（そして単価を下げた分は回転率でカバーする）ことが1つの道なのではないだろうか。

こうしたみんなで解決すべき2024年問題のヒントを与える場として、5月9日よりジャパントラックショー2024がパシフィコ横浜で2年ぶりに開催される。

以下のページでは、同展示会の見どころなどを紹介する。

トラック事業者への影響

☑️ ドライバーの拘束時間の減少

特に長距離輸送を行う業者では長時間労働が発生しやすいので、今まで通りに物が運べなくなる、もしくは法を遵守して経営を行うことが困難な状況になると予想される。

☑️ 売り上げ、利益の減少

1日に運ぶことのできる荷物の絶対量が少なくなり、利益の減少につながる。運賃を上げれば価格競争に敗れて顧客離れが起こる恐れもあるため、安易に値上げをすれば良いというわけにもいかない。

☑️ ドライバーの収入減少

残業時間が規制されれば、その分ドライバーが受け取れる残業代も少なくなる。ドライバーが十分な収入を得られなくなって生活に困窮する恐れがあるし、収入減少による離職が増加すれば人材不足に陥る可能性もある。

荷主企業への影響

☑️ 物流コストの増大

ドライバー不足を補うために賃金アップが必要となり、その影響から運賃自体を値上げせざるを得なくなるなど、物流コストが増大する。

☑️ 長距離輸送の依頼が難しくなる

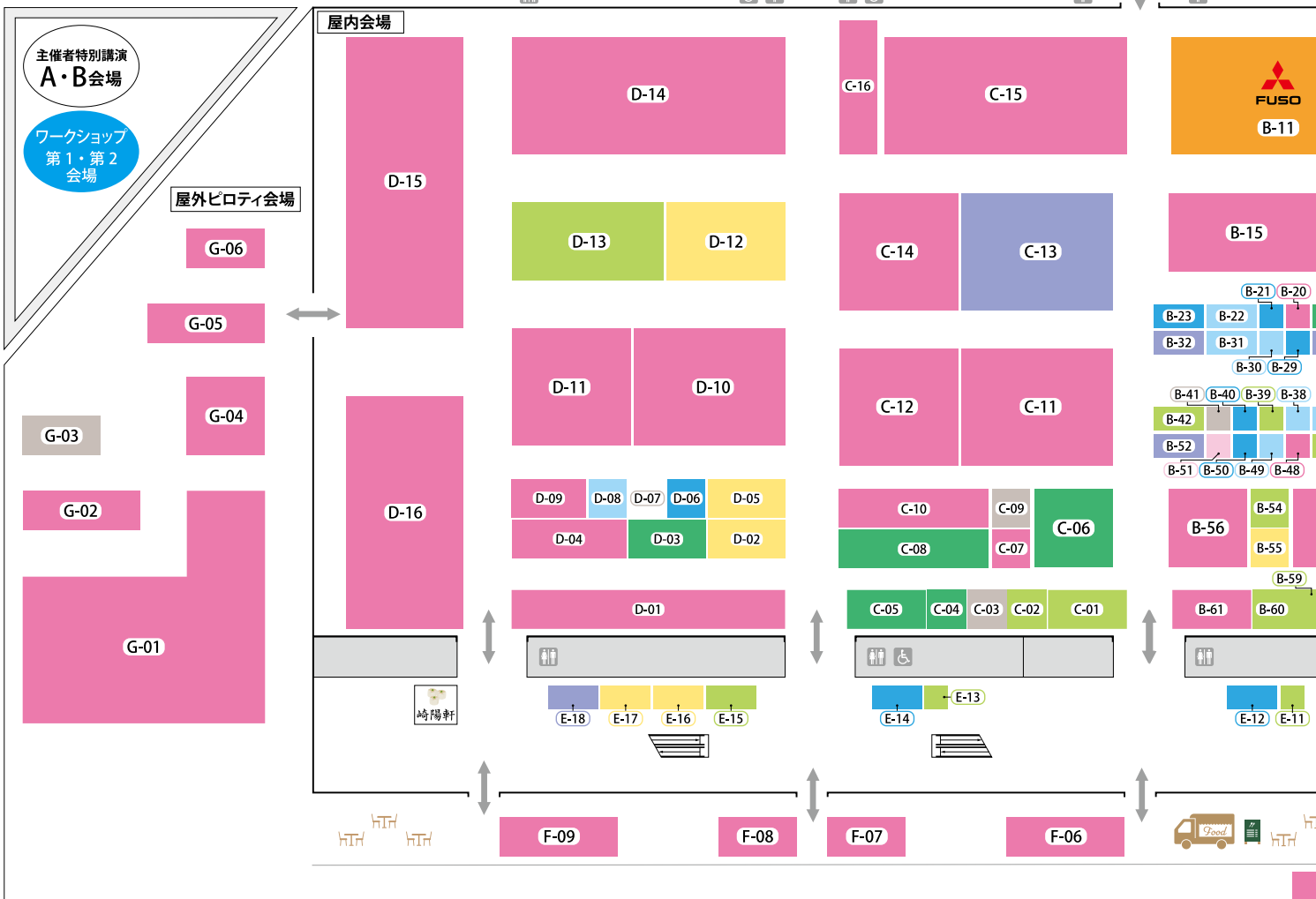
ドライバーの労働時間削減のため、長距離輸送を受けられなくなるトラック事業者も出てくること予想される。そのため、配送ルートの最適化を図るなど、物流の効率化を意識した対応が必要となる。

☑️ 輸送スケジュールの見直しが必要となる

ドライバーの拘束時間減少により、これまで通りの輸送スケジュールでは対応できなくなる場合も出てくる。そのため荷待ち時間が長時間にならないよう調整を図ることや、配送スケジュールの最適化などが必要となる。

2F ハーバーラウンジ

2F アネックスホール



※この小間図面は2024年3月1日現在のものです。

トラックメーカー

- A-02 いすゞ自動車株式会社 / UDトラック株式会社
- B-10 日野自動車株式会社
- B-11 三菱ふそうトラック・バス株式会社
- A-11 スズキ株式会社
- A-01 ホルボ
- B-09 株式会社 EV モーターズ・ジャパン

タイヤ・ホイール

- B-41 AirSafe
- A-16 SAILUN
- B-12 ダンロップタイヤ
- C-09 Chaoyang Longmarch Tire Co., Ltd.
- A-03 TOYO TIRES
- A-13 トビー実業株式会社・トビー工業株式会社
- A-19 日本製鉄株式会社
- A-07 日本ミシュランタイヤ株式会社
- C-03 アルコア・ホイール
- G-03 BBF 協同組合 / 株式会社ヤマテ工業
- D-07 PIRELLI タイヤ
- A-24 BLACK WOLF

架装・レッカー

- C-14 株式会社あかつき
- F-02 株式会社エルティード
- F-05 Ozsan Trailer Japan
- G-01 Ozsan Trailer Japan / ミルウォークキーツール
- D-11 株式会社上陣
- C-15 Kässbohrer
- B-06 G-05 360 株式会社
- F-06 有限会社三基
- A-17 SUNHUNK
- D-04 株式会社信濃車体製作所
- D-16 F-09 株式会社城南ホールディングス
- C-12 セノプロトラック株式会社
- E-06 大連益同鉄板加工有限公司
- B-48 F-04 トップアローズ株式会社
- B-56 ナカオ工業株式会社
- D-01 F-08 日本トレクス株式会社
- B-53 株式会社花見台自動車
- A-05 株式会社バブコ
- A-06 株式会社浜名ワークス
- B-15 株式会社ヒサマツホールディングス
- C-16 株式会社平野ロジスティクス
- G-06 フォレストテック株式会社
- C-10 フジタ自動車工業株式会社
- G-02 BOGO LTD.

- G-04 ホワイトハウス / TCL
- B-20 株式会社ヤシカ車体
- D-15 株式会社矢野特殊自動車
- D-10 F-07 株式会社ヤマグチレッカー
- C-07 横浜車輛工業株式会社 YOKOSHA
- C-11 株式会社ヨシノ自動車 (Fast Elephant)
- D-14 株式会社リトラス
- B-61 株式会社ロードサービス
- B-02 ROLFO
- D-09 株式会社ワーブル

カメラ・センサー・デジタコ

- E-07 アース電機株式会社
- B-29 株式会社あきば商会
- B-23 OCTLINK
- A-15 クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
- D-06 GO 株式会社
- B-50 ジャパン・トゥエンティワン株式会社
- E-12 株式会社テレコム
- B-58 株式会社日本ヴェーテック
- B-40 株式会社ハル技研
- B-21 株式会社 PALTEK
- B-24 矢崎総業株式会社
- E-14 株式会社ワテックス

部品

- B-07 LB Trucks JAPAN
- C-04 クノールプレムゼ商用車システムジャパン株式会社
- C-06 KCV-PARTS
- B-33 株式会社小糸製作所
- B-45 佐鳥電機株式会社
- A-25 澤藤電機株式会社
- B-46 信越電装株式会社
- A-21 伸工貿易株式会社
- C-08 信和自動車工業株式会社
- A-31 株式会社ターボテク/サービス・株式会社エコジータ-ボサービス
- A-30 ナイトスター
- B-04 中野スプリング株式会社 / 日本スプリング販売株式会社
- A-09 株式会社なごテクノ
- B-20 日鉄物産株式会社
- C-05 一般社団法人日本トラックリファインパーツ協会
- B-44 F-01 ハートクラフト
- A-08 株式会社ファンメタル
- B-19 ヤマダボディワークス
- D-03 株式会社リトラス パーツセンター
- E-01 リビルトワールド

教育・その他

- B-51 KEN KRAFT / PLATZ



出展カテゴリカラー

- トラックメーカー
- 架装・レッカー
- 部品
- 用品
- 整備・アフターサービス
- タイヤ・ホイール
- カメラ・センサー・デジタコ
- ソフトウェア
- サービス
- 教育・その他

- トイレ
- 男子トイレ
- 車いす用トイレ
- 女子トイレ
- 階段
- エレベーター

崎陽軒
人気のシウマイ弁当のほか「ジャパントラックショー2024限定 炒飯弁当」などを販売。

キッチンカーエリア

サービス

- B-32 一般社団法人 AZ-COM 丸和・支援ネットワーク
- C-13 株式会社タカネットサービス
- B-52 トラックサミット協議会
- E-18 ドラビタ
- E-10 株式会社日光オート
- B-16 株式会社商船三井さんふらわあ
- B-28 株式会社 Blue Finback

ソフトウェア

- A-35 株式会社 Azoop
- D-08 アセンド株式会社
- B-38 株式会社 INBYTE
- B-31 株式会社 NP システム開発
- A-28 快走韋駄天
- A-32 株式会社コア
- B-30 株式会社タイガー
- B-25 株式会社 TUMIX
- B-49 株式会社デジタルロジスティクス
- B-26 テレリン株式会社
- A-27 ドコマップジャパン
- B-22 TransSupporter/ 株式会社聖互トランスネットワーク
- B-37 Nobi for Driver
- A-12 プレミアソフトプランナー株式会社
- B-43 株式会社ロココ

用品

- D-13 株式会社アイテムワン
- B-17 株式会社アジャスト
- C-02 ALTEED
- A-22 イサム塗料株式会社
- C-01 株式会社石井
- B-18 エバスベヒャーミクニ
- B-42 花魁 JAPAN
- B-60 株式会社オートグラントスーパーセブン
- A-34 オラフォルジャパン株式会社
- B-47 株式会社オレンジ・ジャパン
- B-54 関東車輛株式会社
- B-34 キーフェル株式会社
- E-03 株式会社ケービーエル
- E-11 株式会社三榮商會
- B-59 株式会社サンユー印刷
- E-15 SPHERE LIGHT
- B-27 大和紡績株式会社・帝人フロンティア株式会社
- E-04 TESORO-Japan 株式会社
- B-05 シーユービー株式会社 (TRANSPORTER)
- B-14 株式会社バーマンコーポレーション
- B-01 BIGRIG CUSTOM SHOP
- B-57 ベバストサーモアンドコンフォートジャパン
- E-05 合資会社丸重運送店
- E-08 株式会社本荘興産
- A-26 三菱製鋼株式会社

- E-09 株式会社ヨシオ
- B-36 株式会社ラスタ
- E-13 ロジ・コンビニエンス株式会社
- B-39 ロックペイント株式会社

整備・アフターサービス

- E-16 株式会社アイ・アール・エス
- B-08 株式会社アルティア
- A-10 安全自動車株式会社
- B-55 株式会社イチネンケミカルズ
- A-04 株式会社イヤサカ / エムケー精工株式会社
- E-17 NCH JAPAN
- A-18 カイセ株式会社
- B-35 株式会社空研
- A-29 公洋商事株式会社
- A-33 株式会社サンオータス
- D-02 DAIFUKU
- D-05 タツノ
- B-13 TONE 株式会社
- A-14 HYTORC ユネックス合同会社
- D-12 株式会社バンザイ
- A-23 株式会社ヒラマツ
- E-02 プロフレックス株式会社
- B-03 リコーデジタルペインティング株式会社

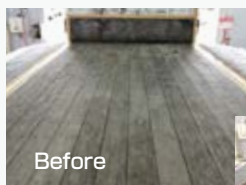
厳選！ 注目の出展企業

150を超える企業・団体が出展するジャパントラックショー2024。多岐にわたるカテゴリーの出展者から、自動車整備、車体修理に関連した注目の企業をピックアップする。



イサム塗料 ブースNo. A-22

ベッドライナービースト、ウッドプロテクト ハイアートCBエコ など



Before



After

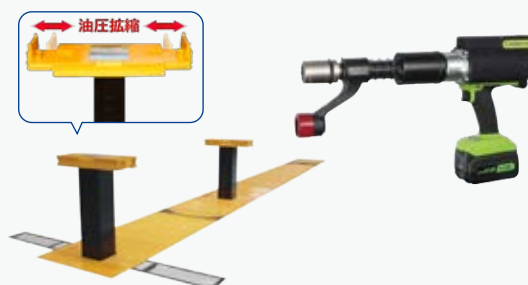


ウレタン塗料のパイオニアとして培ってきた技術力でユーザーの課題解決を提案する。

自動車ボデーやバンパーなどに意匠性と耐久性を付与する「ベッドライナービースト」や豊富な原色を取りそろえた環境対応型2液ウレタン塗料「ハイアートCBエコ」のほか、建機・工作機械の補修に最適な水性塗料も紹介。当日は、トラックの荷台木部を保護する「ウッドプロテクト」や車両下回りの錆を防止する「ハイアートCBエコ防錆コート」を塗装した軽トラックに加え、工業用塗料の提案として小型の建機を展示し、各製品を体感できる。

アルティア ブースNo. B-08

Let's think together!!



アルティアでは2024年問題の課題となっている「安全運行と労働者の安全」、「持続可能性と環境への配慮」、「人材不足と労働力の確保」を軸に、大型車整備に適した整備機器、車輪脱落事故防止対策商品、DPFクリーニング、荷役作業省力化機器を中心に、業界の抱える諸問題に対応する商品を実演・展示する。自動車整備機器においては、安全作業と効率化を実現する油圧拡張受台+レーザーアタッチメント仕様『ツインリフト』やビット落下を防止する電動型ビット落下防止カバー、令和5年10月1日より自動車運送事業者及び整備管理者に対する行政処分が強化された車輪脱落事故防止対策に貢献するトルクセッターやチェーンクリンクを展示する。

イヤサカ／エムケー精工 ブースNo. A-04

ニーズに合わせた安心・安全・ 快適な環境づくり



整備業界を取り巻く環境が、少子高齢化・若者の車離れ等により大きく変化する中、一部の特殊専門店等を除いて業種店から業態店へと変わる時代、業態間の競争がますます激化し大きく変化している。同社取り扱い自動車整備機器のアイテムの中から時代の変化に応じた最新主力設備機器をピックアップ、展示する。

節水仕様や充実したオプションによりプロユースの洗車機に求められる快適な使い心地を実現した、大型車の洗車事情を解決に導くナノバブル仕様の門型洗車機を提案。また、タイヤ脱落事故の防止対策として、ハブボルト等を清掃し、適切な仮締め作業や規定トルクでの締め付けを電動化、トルク管理までをシステムで提案する。

バンザイ ブースNo. D-12

トラック・バスの安心・安全輸送



トラック・バスの安全運行に欠かせない各種整備機器を展示するだけでなく、来場者様に”体験・体感”していただけるよう、トラック・バスの安心・安全輸送をテーマに、バンザイは「自動車整備のみらいをデザインしていく」との思いを込めて、様々な自動車整備機器をご提案。

ADAS整備の効率化機器としてエイミング補助ツール「マルチエイミングボードII」、整備用・検査用スキャンツール「マルチサポートツール」。車輪脱落事故撲滅を目指して、タイヤ脱着作業時に確実な作業ができる工具や保守管理の重要性などの体験を含めてご提案。美装関連では、洗浄体験が可能な複数の高圧温水洗浄機を用意。カーディテリングブランド「BPRO」の車両コーティング・車内清掃機器などもご提案する。



ロックペイント ブースNo. B-39

ハイロックECO シャネツ
ハイロックECO DUAL ほか



ロックペイントが長年培ってきた技術を応用し、高い機能性と耐久性を兼ね備えた環境配慮型の大型車両用遮熱塗料や作業環境改善に寄与する水性系整備補助製品を提案する。

国土交通省NETIS登録済（登録番号:QS-220038-A）、大型車両・産業機械に適した環境配慮型 遮熱塗料「ハイロックECO シャネツ」をはじめ、下塗りと上塗りの特性を兼ね備え、防錆力と耐候性、各種金属への付着性に優れた「ハイロックECO DUAL」を出品。そのほか、水性の油脂洗浄剤「ロック水性オイルクリーナー」及び、光沢性、漆黒性に優れた無希釈タイプの1液型水性シャシー塗料「シャシーブラック W」は、特化則対応で消防法指定可燃物のため、作業環境改善、作業者の健康被害低減に貢献する。



その他出展者

その他、自動車整備、部品に関連する出展企業は以下の通り。

アイ・アール・エス

ブースNo. E-16

ディーゼルインジェクター洗浄システム「CRICS」の実演とインジェクターの予防整備のメリットを解説。

安全自動車

ブースNo. A-10

「モバイルコラムリフト」など、大型車用自動車整備機器約30アイテムを展示。実際に見て、触れて使用感を体感できる。

イチネンケミカルズ

ブースNo. B-55

降雪地域や沿岸地域の物流事業者から高い支持を得ている「塩害ガード」ほか、高効率塗装機器を展示。

Ozsan Trailer Japan/ミルウォークーツール

ブースNo. G-01

欧州Ozsan Trailer社のトレーラーのほか、超人気沸騰中のミルウォークーツールの電動工具200種類以上を実演・展示。

カイセ

ブースNo. A-18

新製品の24Vジャンプスターターやサーモグラフィカメラ、バッテリーチェッカー、オシロスコープなどを展示。

空研

ブースNo. B-35

大型、中型ホイールナットの締め付けを行うナットランナーを多数用意。実際に締め付けを体験できる。

サンオータス

ブースNo. A-33

ディーゼル車のフューエルインジェクターを非分解で洗浄し、付着したカーボンを除去できる機器「ディーゼルプロ」を展示。

信越電装

ブースNo. B-46

50年の経験と年間20万台の生産実績を持つ、オルタネーター、スターター、エアコンコンプレッサーのリビルト部品を展示。

ターボテクノサービス・エコロジーターボサービス

ブースNo. A-31

業界唯一リビルトを可能とした可変ノズル（VGS）ターボチャージャーを展示。製造工程が分かるPVも放映。

TONE

ブースNo. B-13

大型バス・トラックなど大型車向け整備工具やトルク管理製品、次世代の最新タイヤレンチなど盛りだくさんの内容を展示。

ながおテクノ

ブースNo. A-09

トラック、トレーラー用リビルトパーツ及び新品パーツなど、どこにもない商品を多数展示する。

日本トラックリファインパーツ協会

ブースNo. C-05

環境に配慮したトラック分解を行い、点検・洗浄など規格統一された高品質なりサイクル部品「リファインパーツ」を展示。

パーマンコーポレーション

ブースNo. B-14

「働くクルマをサポートします!」をキーワードに、輸送・物流業務の安全・安心と利便性・快適性の向上に役立つ商品を展示。

プレミアソフトプランナー

ブースNo. A-12

販売からアフターサービスまで、一気通貫で顧客対応を可能にする顧客管理システム「GATCH(ガッチ)」などを展示。

本荘興産

ブースNo. E-08

大型車専用 にリデザインした、手洗い洗車省力化ツール「WASHMAN」を展示。トラックの手洗い洗車を改革する。

リトラス

ブースNo. D-14

自社工場で架装を行った車両を含む、カーゴフロア、チップダンプ、パルフィンガーセルフクレーンなど7台の車両を展示。

リトラスパーツセンター

ブースNo. D-03

リビルトパーツを製造する同社はリビルトV8エンジン・ミッション搭載のレストア車やトラックパーツなどを展示。



セミナー 一覧

5月9日(木)

【講演】 10:30~11:15 [A会場]

我が国の物流の革新に向けた取組みの動向

国土交通省 物流・自動車局 貨物流通事業課 課長 小熊弘明 氏

【対談】 11:45~12:45 [A会場]

関西人がホンネで語る！ 2024年問題をチャンスに変える戦術とは。

ベストライン 代表取締役社長 辰巳千里 氏
フジトランスポート 代表取締役 松岡弘晃 氏

【講演】 13:15~14:00 [A会場]

「運ぶ」の課題解決に向けたいすゞの取り組み

いすゞ自動車 執行役員SVP 渉外担当役員 開発部門VP 佐藤浩至 氏

【対談】 14:30~15:30 [A会場]

AZ-COM丸和グループ、事業拡大のウラ側に迫る！ 新しき価値創造とはなにか。(仮)

AZ-COM 丸和ホールディングス 代表取締役社長 和佐見勝 氏
国際物流総合研究所 代表理事 南元一 氏

【パネルディスカッション】 16:15~17:30 [A会場]

企業成長戦略の秘訣を探る ～儲かる仕組み作りとは～

南日本運輸倉庫 代表取締役会長 大園博史 氏
新潟食品運輸 代表取締役社長 井越鉄雄 氏
国際物流総合研究所 代表取締役社長 岩崎仁志 氏

【パネルディスカッション】 10:45~12:15 [B会場]

物流業の課題と行政に望むこと

ダイワ運輸 代表取締役 木村泰文 氏
福岡運輸 代表取締役社長 富永泰輔 氏
トーヨー・ロジテック 代表取締役社長 西岡齊 氏
国際物流総合研究所 代表取締役社長 岩崎仁志 氏

【講演】 12:45~13:30 [B会場]

自動運転トラックの社会実装に向けた現状と課題

ネクスティ エレクトロニクス 「RoAD to the L4」テーマ3リーダー/技監 小川博 氏

【パネルディスカッション】 14:00~15:30 [B会場]

安全・安心追求のためのエコドライブ活用

C&Fロジホールディングス 執行役員 若田部守一 氏
矢崎総業 モビリティ事業本部 モビリティ事業企画統括部 事業企画統括部長 松尾昌則 氏
セーフティ・サポート 代表 渡辺良祐 氏
国際物流総合研究所 代表取締役社長 砂川玄任 氏

【講演】 15:45~16:30 [B会場]

「物流の2024年問題」の到来と フェリー・RORO 船の活用

商船三井さんふらわあ 執行役員 松本淳 氏

5月10日(金)

【講演】 10:45~11:30 [A会場]

トラック運送業界のGXの実現に向けて

国土交通省 物流・自動車局 技術・環境政策課 専門官 松坂真史 氏

【講演】 12:00~12:45 [A会場]

We Connect New Road- 三菱ふそうが繋ぐ新たな“道” (仮) 三菱ふそうトラック・バス

【パネルディスカッション】 13:00~14:00 [A会場]

物流コンサルが語るこれからの物流のあり方

FULLxALL 代表取締役 大林謙太 氏
物流改善事務所 代表取締役 黒澤明 氏
loc-any 代表取締役 古島靖久 氏
国際物流総合研究所 代表取締役 砂川玄任 氏

【パネルディスカッション】 14:30~16:00 [A会場]

2024年問題 “つぶれる会社” と “のびる会社”

安立運輸 代表取締役社長 出島康佑 氏
NBSロジソル 代表取締役社長 河野逸郎 氏
ライフサポート・エガワ 代表取締役CEO 江川哲生 氏
トラボックス 代表取締役会長 吉岡泰一郎 氏

【パネルディスカッション】 16:30~17:45 [A会場]

2024年問題に向かってトラック協会の対応策

東京都トラック協会 副会長 鎮目隆雄 氏
千葉県トラック協会 会長 池田和彦 氏
神奈川県トラック協会 副会長 東海林憲彦 氏
LOGISTICS TODAY 代表取締役社長/LOGISTICS TODAY編集長 赤澤裕介 氏

【パネルディスカッション】 10:30~11:45 [B会場]

私たちのヒミツの話し…そっと教えます♪ 女性経営者の嬉しい本音トーク

今井運送 代表取締役 今井麻衣子 氏
AZUMA 代表取締役 上田裕子 氏
ハンナ 代表取締役 下村由加里 氏
M'sパートナー 代表取締役 森田雅子 氏

【パネルディスカッション】 12:15~13:30 [B会場]

物流業 次の時代へ

ムロオ 代表取締役社長 山下俊一郎 氏
カーレントサービス 代表取締役 保坂高広 氏
ダイセイエプリー二十四 代表取締役社長 田中孝昌 氏
アサヒロジスティクス 代表取締役社長 横塚元樹 氏
輸送経済新聞社 取締役 水谷周平 氏

【パネルディスカッション】 14:00~15:00 [B会場]

3PL事業で会社を変える！

元日本アクセス 取締役専務執行役員 中井忍 氏
サンインテルネット 代表取締役社長 三田竜平 氏
日本物流開発 代表取締役社長 川底宏至 氏
ロジ・ソリューション 代表取締役社長 戸井田修 氏
日本3PL協会 専務理事 加藤進一郎 氏

【講演】 15:30~16:15 [B会場]

ドライバー教育「自社で行う座学と実車指導」

小田原ドライビングスクール 副管理者・講習部長 交通心理士 緒方克宣 氏

【パネルディスカッション】 16:45~18:00 [会場]

2024年を迎えどう乗り越えていくか

ロジックライン 代表取締役 沢田秀明 氏
インフィールド 代表取締役社長 野中章男 氏
橋本運送 代表取締役社長 橋本道徳 氏
物流産業新聞社 高田直樹 氏



油脂類、ワックスなど

ブレーキ&パーツクリーナー

「GP-588MK」

創業60周年を機に刷新したコーポレートロゴに合わせて、統一感のあるデザイン・カラーにパッケージをリニューアル。自動車用ブレーキ部品、金属部品の脱脂・洗浄用のクリーナー。噴射剤は寒冷地などでも安定して使用できるLPGとCO₂の混合配合。容量840mlに対し、含まれる溶剤は最大クラスの588ml。



エムケーカシヤマ TEL 0267-85-1234

長野県佐久市小田井1119 <https://www.mk-keshiyama.com/>

整備機器全般

OBD検査・整備兼用スキャンツール

「TPM-6」

OBD検査用スキャンツール（DoIP接続可能）を標準装備した、ハンドヘルドタイプの整備兼用スキャンツール。便利機能を集約した整備兼用スキャンツールの最高傑作。整備用から検査用へとワンタッチで切替可能。



ツールプラネット TEL 058-246-1733

岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2 <https://www.toolplanet.co.jp>

整備機器全般

タイヤ溝測定装置

「EASY-TREAD」

床面に設置し、最大8km/hの速度で車両を通過させることによりタイヤの溝の深さを測定する装置。溝の深さだけでなく、摩耗パターンも表示する。測定結果はWebブラウザー上で表示できるため、PCのみならずスマートTVなどで見せることも可能。オプション機能として、顧客管理、測定値・統計管理も付加できる（要PC）。



バンザイ TEL 03-3769-6880

東京都港区芝2-31-19 <https://www.banzai.co.jp>

整備機器全般

エアインパクトレンチ

「SP-390DXS」

軽量ハイパワー、耐久性抜群のエアインパクトレンチ。内部部品の強化により、大幅にトルクがアップした。耐久性抜群のオイルバス式ツインハンマークラッチを搭載。中空アンビルの採用で、ソケット装着時のバランスも抜群。



ベッセル TEL 06-6976-7771

大阪府大阪市東成区深江北2-17-25 <https://vessel.co.jp/>

情報

BOX

information box

アルティア 新役員人事を発表

アルティアは4月1日、新年度の役員人事を発表した。

- ・取締役会長 濱崎 弘路
- ・代表取締役社長 浜本 雅夫
- ・常務取締役 二瓶 久
- ・取締役 田崎 克弥
- ・取締役 河井 芳浩
- ・取締役 羽石 和弘
- ・監査役 小島 秀一
- ・常務執行役員 三島 康雄
- ・執行役員 石川 重仙
- ・執行役員 池淵 武
- ・執行役員 浅野 真吾
- ・執行役員 加藤 拓

バンザイ 交通遺児育英会に寄付金を贈呈



バンザイは、交通遺児育英会へ寄付を行い、3月28日に目録の贈呈式が行われた。昨年、一昨年に続き3回目となる同団体への寄付金の贈呈

は、同社の基本方針である「ESG活動への取り組み推進」の一環であり、自動車関連企業の一員として支援を行ったもの。

柳田昌宏社長は「交通事故撲滅への施策や、交通遺児の方々の未来が少しでも豊かになることを心より願っている」と話し、同会の石橋健一会長へ寄付金の目録を贈呈した。また、寄付に伴い石橋会長から柳田社長に感謝状が授与された。

車検の速太郎 全国オーナーコンベンションを開催



車検の速太郎をFC展開する速太郎本部（高木芳郎社長、広島県広島市）は4月16日、リーガロイヤルホテル広島（同市）で第28回全国オーナーコンベンションを開催した。

今年度は「CO-Creation<共創>～The Best Relationship 最高の関係を～」をテーマに掲げ、顧客の期待を超えるサービス価値の提供によって得られる人と人との繋がりに重きを置くことで、同社の企業理念でもある一客再来の実現を推進。そしてBM問題を受け、より一層の社内ガバナンス及びコンプライアンスの徹底と見直しを加盟各社へ呼びかけた。また、人口減少に伴う自動車整備士の不足などに対応するため、2024年10月以降にOBD検査開始と時期を合わせる形で車検基本料金改定に踏み切ることを発表。

冒頭の挨拶で高木社長は、「ASV

普及や業界の不正を経て、我々にはさらなる安全性と透明性が顧客から求められている。今後、車検基本料金の値上げなどの将来を見据えた方向転換の改革も必要となってくるだろう。国交省との意見交換を通じて、より良いサービス内容へと舵を切りながら業界のナンバーワンを目指し、加盟店舗と力を合わせて新時代を生き残っていく」と力強く語った。

その後、本部による繁忙期支援施策の実績報告や顧客予約アプローチシステム・新HaYAnoteの新機能紹介、優秀スタッフ認定の変更点、新規加盟店舗の紹介、年間表彰などが行われた。

WinmaX Comtoy Racingと パートナーシップ契約を締結



エムケーカシヤマのハイパフォーマンスブレーキパーツブランド「WinmaX」は、Comtoy Racingとパートナーシップ契約を結んだ。WinmaXは同チームのレース用ブレーキパッドを長年サポートしており、TCRシリーズ等全世界のレースで勝利を重ねてきている。

今回の契約でWinmaXは同チームのGT3向け新車両、Aston Martin Vantage GT3のブレーキパッドの供給及びブレーキパーツの共同開発を行い、同チームのGTワールドチャレンジ・ヨーロッパでのレースをサポートする。

これからの整備の必需品

ADAS

OBD車検

エーミングツールキット

全国産車に対応 (トラック対応
輸入車は一部対応)

全項目エーミング可能

エイニーズガレージのエーミングツールなら
アフターフォロー万全
導入に不安な方もご安心ください!



※エーミングターゲットはオプション販売です。

簡単!
正確!

钣金塗装業で培ってきた知識と経験を活かし、当エーミングツールを開発しました。効率性・利便性・作業性の高さを実現し、計測から設置までより簡単・正確に作業できます。

導入後も
安心!

『見えない「安心」を「見える「安全」に』を理念とする弊社は、月間100台以上のエーミング作業を行う実績を持ちます。導入前は全国の現場にお伺いし、ツールの説明や作業場所・作業体制を確認します。アフターフォローでは不明点の解決をはじめ、エーミングセットアップマニュアルの提供や不具合情報の共有など、無料でご利用できますので導入後もご安心ください。



低価格!

自社開発製品かつ直販のため、導入しやすい低価格を実現しました。導入の懸念要素である初期費用を抑えられます。お見積りはお気軽にお問い合わせください。

- カメラエーミング・レーザーレーダーエーミング・ミリ波エーミング・BSM(ブラインドスポットモニター)エーミング・360°オールアラウンドビューカメラエーミング等の作業に対応するエーミングツールです。
- カメラエーミングとミリ波エーミングのセッティングポイントが同時に測定できるため、3点ポイントの計測が不要です。
- ホンダ車や日産車など前輪中心からのセッティングも簡単にできます。
- 車両中心線からのオフセットセッティングや、BSM(ブラインドスポットモニター)エーミングの際のセッティングポイント計測・360°オールアラウンドビューエーミングのセッティングポイント計測にも対応しております。

ADASエーミングツールBasic Kit ANG-1001 ※エーミングターゲットはオプション販売です。

[キット内容]メインツール/サブツール/車両芯出しクロスレーザー用アタッチメント/カメラエーミング用アタッチメント/ミリ波エーミング用リフレクター/高輝度グリーンクロスレーザーユニット (BOSCH製)メインツール用/高輝度グリーンクロスレーザーユニット (HUPER製)サブツール用/アルミダンジャー1.5m×4本(接続可能で最大6mまで対応可能)/基準点マーカー用プレート 大×2枚 小×1枚・下げ振り

●カメラエーミングに特化した自動車ガラス店向けのツールキットも販売しております。

うちでもエーミングできる? エラーが消えない! 工賃の設定はどうすればいい?

商品について知りたい方、導入をご検討の方は電話・メールにてお問い合わせください。

お見積り

カタログ請求

0587-81-6567

info@annys-garage.com

全国出張デモ

ご質問・ご相談

電話受付時間 9:00~20:00 (日・祝日除く)

商品の詳細は ▶ エイニーズガレージ



全国各地で躍進する **イチフェイス**

エイニーズガレージ社製「ADASエーミングツール BASIC kit ANG-1001」の導入ユーザーで組織されるイチフェイス。藤本明治社長が掲げる安心・安全な自動車整備を追求し、信用と実績を積み上げていく理念の下、そのノウハウを共有し合い、全国各地で躍進するメンバーを紹介する。

イチフェイスメンバーのご紹介

古賀ボデー

佐賀県小城市芦刈町道免1468-2

| | |
|-----------------|-------|
| 代表者 | 古賀保隆 |
| 創業 | 1998年 |
| スタッフ数 | 9人 |
| 主な事業内容 | 钣金塗装 |
| エイミング 月間作業台数 | 50台 |



古賀保隆社長

— エイミングツール導入のきっかけは？

自分たちの手で整備し、しっかりと顧客に説明すべきだと考え、ネットでエイミングツールを探していた。メーカーの純正ツールを個別で買うよりも安い上、全メーカーに対応できる点が魅力だと思い、導入を決めた。

— 導入して良かった点は？

イチフェイスでの情報共有。地域も年齢も違う人たちと交流を深めることで視野が広がった。特に、自分よりも若い経営者たちが努力している姿は良い刺激になる。

— 今後の取り組みについて

特定整備制度は、钣金塗装業が輝きを取り戻す最後のチャンス。職人ではなく整備士として、ASVの修理、整備、そしてエイミングに臨んでいきたい。



最新設備を導入した新しい作業場でエイミングに対応する

サンオート桑原

三重県伊賀市上友田2768

| | |
|-----------------|-----------------|
| 代表者 | 桑原英夫 |
| 創業 | 2018年 |
| スタッフ数 | 3人 |
| 主な事業内容 | ガラス交換 新車納車整備 |
| エイミング 月間作業台数 | 20台 |



桑原英夫社長

— エイミングツール導入のきっかけは？

早くからフロントガラス交換に伴う一連の作業としてエイミング対応の必要性を感じ、信頼性の高い機材を求めてネットで検索した末、これだ！と思った。

— 導入して良かった点は？

導入前に他社ツールを試したが、それとは比較にならないほど安定性・信頼性ともに高い。それでいてリーズナブルな価格というのもありがたい。藤本社長の知識の深さも心強く、とても勉強されていると感じている。

— 今後の取り組みについて

設備をより有効に活用するため、一般ユーザーをもっと取り込みたい。専任スタッフも増強し、「伊賀エーミングセンター」（仮称）の看板を掲げるのが目下の目標。



機動性の高さから出張作業にも活用

〈大型車整備関連機器特集〉 メンテナンスの効率化で 2024 年問題を支えよう

昨今、物流需要が高まる一方で、それが一因とされる物流の2024年問題が生じるなど、厳しい環境下にある物流業界。車両のメンテナンスも業務効率化で、時間当たりの処理台数をアップしたいところだ。そこでここでは、大型車整備に役立つ機器・製品たちをピックアップする。



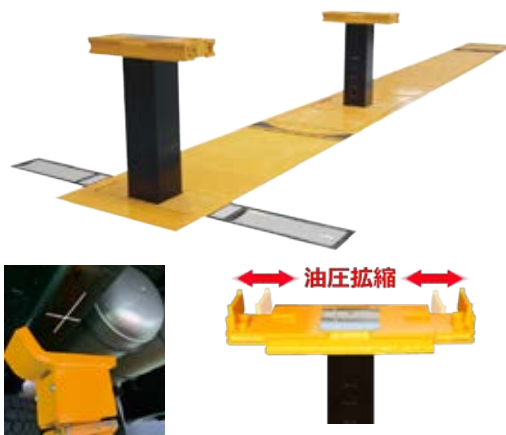
効率化・安全性向上に貢献

キャタピラ式ツインリフト「油圧拡縮受台」+「クロスレーザーアタッチメント」 アルティア » <https://altia.co.jp>

床面が常にフラットな「FLAT&FLAT」機構を採用。安全な作業空間を確保し、オールドレインなどの周辺機器が段差に落下する心配もない。能力は1ポストあたり16トンで、入庫車種や整備のニーズに合わせて2ポスト(ツイン)、3ポスト～5ポストまで幅広くラインアップしている。

さらに、独自の『油圧拡縮受台』(特許第6656116号・第6902126号)と『クロスレーザーアタッチメント』は、低床車が増える中、狭い車両下での危険で重労働なリフト受台セッティングの煩わしさを軽減し、リフトアップ時の安全性の確保・時間短縮・作業効率化を実現する。

また、『油圧拡縮受台仕様』ではリモコン操作で受台を拡縮可能で、『クロスレーザーアタッチメント』を組み合わせることで、クロスレーザーが目印となり、リフトアップポイントを容易に合わせることが可能。



※写真はイメージです。実際のレーザー光は赤色です。

立ち姿勢のまま安全に脱着

ハイリフト式ホイールドーリー「タッター Z シリーズ」 安全自動車 » <https://www.anzen.co.jp>

立ち姿勢のまま、ホイールを安全・確実・スピーディーに脱着可能なハイリフト式ホイールドーリー。小型トラックから大型トラック・バスに対応。

遠隔操作式タイヤホルダーにより、搭載ホイールを各タイヤサイズに合わせて、安全・確実に作業者は直立状態でホールドできる。チェーンやベルト掛けは不要。ハブ付き・なしにかかわらず、シングルタイヤ1輪または2輪の分離直立搭載が可能。

タイヤ回転ローラーを標準装備し、搭載ホイールを360°水平回転、90°ごとにロックできる。ハンドルポスト間が広く、十分な作業スペースを確保できるため、移動時のハンドリング性も向上。キャスター及びタイヤローラーの取り付け幅が広く、転倒安定性と落輪安全性を確保した。

対象の車軸に合わせて後軸専用の「TH450-ZW」、前軸専用の「TH450-ZF」、前後軸兼用の「TH450-ZFS」の3タイプをラインアップしている。



自由度の高いレイアウトが可能

大型車用電動無線移動式 モバイルコラムリフト

イヤサカ » <https://www.iyasaka.co.jp>

各コラム（柱）が無線で他のコラムと連携を取ることで、通常の設置式リフトと同様に使えて移動も可能な、大型車用のコラムリフト。

コラム自体が移動可能なため、リフトアップする車両ホイールベースに合わせたレイアウトが可能。実績のあるH形鋼により、各コラムは卓越した機械剛性を持っている。一方で、移動時に周辺状況が見渡しやすいようコラムは可能な限り細く、最適化された設計により最小の回転半径を誇る。

昇降作動は油圧フリーのモーター駆動ボールナット式。高品質、メンテナンスフリーのウォームギアモーターにより、オーバーランのない高いスムーズな昇降と正確な高さ調整が可能。

各コラムには据え付け仕様タイプのリフト同様の耐久性と防滴性を兼ね備えたプラスチック製操作パネルを装備。LEDにより直感的に分かりやすい操作性を実現している。



安全な1人作業を実現

足回りメンテナンス専用工具「スタビリンカーブッシュプラー」

京都機械工具 » <https://ktc.jp/>

大型車のスタビリンカーブッシュ（スタビリンカーとタイヤをつなぐ部品）の交換が1人で安全に行える工具。製品重量が軽いため、従来であれば重いスタビリンカーを油圧プレス機まで運んでいた工程が必要なく、車にタイヤを取り付けたままブッシュの押し抜き、圧入が可能になった。いすゞ車及び日野車それぞれに対応したアタッチメントセット（ATSP120、ATSP130）と、これらと組み合わせる油圧ユニットセット（ATSP110）の3種をラインアップ。



デジタル表示でより操作性を向上

大型車用タイヤレンチ「コードレス電動タイヤレンチ（デジタルタイプ）」

TONE » <https://www.tonetool.co.jp/>

大型車ホイールナットのトルク管理に適した、デジタル表示タイプのコードレス電動タイヤレンチ。ブラシレスDCモーターの採用により、低騒音及び低振動を実現。

設定トルク値と締め付け本数をデジタル液晶下のボタンで変更する。残り締め付け本数を確認しながら作業が可能のため、締め忘れを防止する。出力ユニットはレバー式反力受けとカップ式2種類（JIS方式6&8穴ホイール／新ISO方式8&10穴ホイール）の3つをラインアップ。1バッテリー当たり（4.0Ah）の締め付け本数目安は約220本となる。



最先端を走る大型車の安全を確保

大型車用アライメントテスター「カムアライナー」

バンザイ » <https://www.banzai.co.jp>

軽量・コンパクトなカメラセンサーを採用し、スピーディーかつ高精度なホイールアライメント測定を可能にした、大型車用のアライメントテスター。セルフセンタリングゲージを使用して、フレーム中心を基準線としてアライメント測定を行う。フレーム中心を基準とすることで、車軸の直角度や平行度を含めた車両全体でのアライメント測定が可能になる。操作は各測定モードを選択し、グラフィックに従うだけの簡単操作。測定結果はパソコンで管理できる。各アクスル別、全アクスルなど表示切り替えも可能。また、軽量・コンパクトなカメラセンサー（光学式）の採用により、ジャッキアップランナウト測定に加えて、ローリングランナウト計測が新たに追加された。様々な環境に応じて測定方法を変更することができる。バンザイでは、長距離を走る大型車では車両の直進性がタイヤの偏摩耗や燃費などに大きく影響することから、アライメントテスターの導入を推奨する。



専用アプリと連動し工程・品質を管理

バッテリー式トルク制御型電動ナットランナー「CP8609 eBlueTork」

シカゴニューマチック（不二空機） » <https://cp86.cp.com/ja-jp/>

大型車ホイールの締め付けに適したバッテリータイプのトルク制御型電動ナットランナー。高解像度の大型有機ELディスプレイ搭載で、手元のボタン操作により目標トルク値を設定可能。精度±4%で締め付けた後、設定値に達すると自動停止し、締め付け結果のトルク値を表示する。ボルトの緩みや締め忘れを防ぐトルクチェック機能も備え、角度締め付けに対応したC / CQ / TCタイプを準備。

また、専用スマホアプリ「CPLinQ」と連動し作業結果をデータとして記録。工程管理による作業時間の短縮に寄与するだけでなく、ツールの使用状況も分かるためメンテナンス時期の把握にも役立つ。



直接・間接の法定需要に対応すべし

ある意味法律に守られていると言われる自動車整備業界。車検・定期点検という、入庫のめどが立てやすい法定需要があることを指していることは言わずもがなだ。その一方で、法律が変われば指定機器の導入、体制の見直しなど、それに追隨していく必要もあり、今年で言えば4月の特定整備認証制度の本格スタートに続いて、10月にはOBD検査も始まる。奇しくも同じ4月には、ドライバーの労働時間・拘束時間の見直しを迫られる、いわゆる2024年問題が物流業界を主眼として生じている（→8ページ参照）。

自動車整備業界としては直接の影響を受けるわけではないものの、大型車整備を扱う工場にとっては、大事なお客の一大事である。見方によっては間接的な法定需要とも言え、限りある営業用車両の活動時間を少しでも長く確保できるよう、作業効率を上げることで応えていきたいところだ。



事故車等の排除業務
有償運送許可の
おはなし①

ご存知ですか？ 事故車を有償で運送する場合、自家用ナンバーの 積載車でも国土交通省の許可が必要です！

交通事故は減ったといっても年間約30万件は発生している！

自動運転車の実用化・普及に先駆けて、衝突被害軽減ブレーキいわゆる自動ブレーキ搭載車が、販売される新車の大半を占めるようになってきている。

こうした先進安全車両の目的としてはただ一つ、事故を減らすことにある。警察庁の統計によると、交通事故発生件数は2004年の約95万件をピークに減少し続けており、5年前の2019年にはついに30万件台に突入し、翌年には前年から約7万件減って以後30万数千台を維持している。

すなわち、ピーク時から比べると3分の1にまで減ったことにはなるが、一方で依然として30万件の事故が毎年発生していることになる。年間30万件と言え、月間では2.5万台、1日当たりでは約833台、47都道府県で考えると各県で平均15～17件の事故が発生している計算になる。

ロードサービスを有償＝事業として運用する場合 緑ナンバーの取得が必要

交通事故＝車両が破損とは限らないものの、ロードサービス需要は依然としてなくなることはないのだ。しかし、サービスとはいえ、完全に無償で出動できる業者がないとは言わないが数は少ないはずで、多かれ少なかれ出動には費用が発生する。

そのため、有償で事故車両を運送するためには、緑ナンバーを持った事業用の積載車で業務に臨む必要がある。

小規模事業者にはハードルが高い緑ナンバーの取得 その救済措置とは？

しかし、事業としてロードサービスに取り組むためには、様々な条件や制約があるのだが、その中の1つ、単純に車両を5台以上用意することも、小規模・零細事業者からすればかなり高いハードルにはなる（車両購入費は？ 保管場所の確保は？）。

事業用の緑ナンバーは取得できない、さりとて自社顧客か

らあるいは保険会社から要請があれば出動せざるを得ない、自社にあるのは自家用ナンバーの積載車。どうすれば良いのか？

こうした状況を受けて、救済措置とも言うべき制度が2011年に誕生した。それが「車積載車による事故車等の排除業務に係る自家用自動車の有償運送許可」である。すなわち、2つの許可要件を満たした事業者が、自家用ナンバーの積載車を使って故障車両の有償運送が可能になるという制度である。

逆に言えば、こうした制度がすでに存在する以上、当該研修を受けずに有償運送を事業として行っていた場合、違法ということになる。

2つの許可要件とは何か？

さて、気になる2つの許可要件とは、

- 研修実施団体が実施する研修を受けていること
- 車積載車の運行により生命または身体の損害を受けた者一人につき、保険金額5,000万円以上の対人賠償保険契約等を締結していること

である。つまり、研修を受けることは先ほど触れた通りであり、それ以外は要するに自動車保険に加入している車両でロードサービスに当たれということである。次回は気になる研修実施団体についてお伝えする。



好評発売中

「整備」を制す!!!



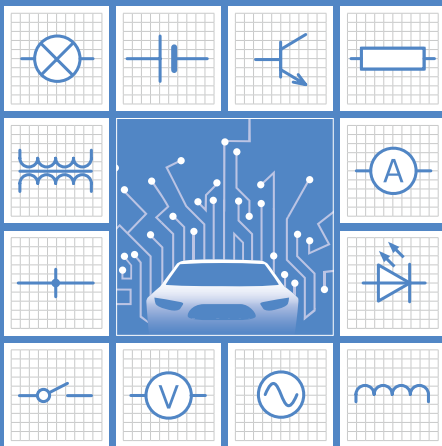
「電気」を制する者は

なるほど! よくわかる!

電動車整備のための 電気・電子の 基礎知識

電気を制するものは整備を制す!!!

山岡丈夫 著



PROTO RIOS

なるほど! よくわかる!

電動車整備のための 電気・電子の 基礎知識

山岡丈夫 著

B5判 / 204ページ / フルカラー
定価3,630円 (税込・送料無料)

2008年から連載の「車体整備士のための
電気・電子と電装品の知識」を再編集し、
新しい項目“電動車の構造と電気回路”を
書き下ろしで1冊にまとめました。

お問い合わせ・ご注文は、
お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。

 **PROTO RIOS**
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-3-7
TEL: 06-6227-5661 FAX: 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>

絶対に失敗できない 整備がそこにはある



ハイブリッド車と 先進安全装置の 基礎知識

定価
3,520円
(税込、送料込)
A4変形判フルカラー
120ページ



巻末資料
プロトリオスオリジナル
ASV問診票

ハイブリッド車と
先進安全装置の
基礎知識

PROTO RIOS

取引先、直需客にも使える!
コピーして繰り返し使える!

※「ハイブリッド車整備の基礎知識」「プラグインハイブリッド車電気自動車整備の基礎知識」はおかげさまで完売致しました。

お問い合わせ・ご注文は、
お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。



PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス

〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL:06-6227-5661 FAX:06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>



第15回 自動車保険獲得の重要性

整備業の車販は一足飛びには進まない。車販推進の前に基盤顧客との接点強化が必要なことをこれまでの連載で何度か書かせていただいた。

今回は、顧客接点の一つとして、自動車保険に注目してみたい。

自動車保険も基盤客との大事な接点だ。更新は年1回なので、そのタイミングで次回車検までの代替意向の確認を行い、代替案件を発掘していくことはとても効果的だ。

以前にお会いした整備工場の経営者様が、『車は胤、保険は糸』とたとえ、糸が切れなければ、お客様との関係性はずっと続く』と仰っていた。

車検入庫の顧客接点だけでは、「代替や廃車、引越し」などの車両の変更情報や「転職、お子様の免許取得や結婚」などのライフイベントの情報を把握することは難しい。車検期間中に他社での代替があると、そのまま音信不通になってしまうことも少なくない。

しかし、自動車保険に積極的に取り組むと、このような情報が手に入れられやすくなる。なぜなら、自動車保険には「通知義務」があるからだ。

まさに、整備工場と顧客の関係性をつなぐ大事な糸である。そこで今回は、車検入庫客からの自動車保険新規獲得の手法を紹介したい。

まずは他社加入のお客様の自動車保険証券を入手することが第1ステップとなる。車検を案内する入庫コールのタイミングで自動車保険証券の持参を依頼することが必要だ。

伝え方としては、「車販・車検時の必要書類として、自動車保険証券をお持ちください」と自信を持って言い切る。この証券持参の依頼を当たり前の日常活動に習慣化することが重要だ。

とはいっても、お客様から、「なんで保険証券が必要なの?」と聞かれることもある。

その際は、「弊社では、車検の際に無償で代車を提供していますが、万が一の事故の際は、お客様の自動車保険を優先的に使わせていただいております。つきましては、自動車保険の補償内容を確認させていただきますので自動車保険証券をお持ちください」とこんな感じで代車を利用するのに必要な書類として証券持参を促す。

代車で事故の際は、利用者の他者運転危険担保特約を優先的に利用する整備工場が多いが、その場合は当然依頼すべき内容である。

当たり前だが、保険証券を入手しただけでは、新規保険獲得にはつながらない。車検入庫時には「証券診断」を行い、補償が正しく付いている

か、過不足がないかを確認し、最適なプランを提案する。満期が近い場合は満期日からの切り替え、もしくは中途更改での切り替えをお勧めしてほしい。

一方で、満期がしばらく先といった場合、他社満期情報を管理して、適切なタイミングでアプローチをすることが必要となる。この管理やアプローチに苦勞されているケースをよく見るが、効果的な手法としては、満期日の2ヶ月前に、「100円洗車」などの集客力の高いイベントを組み合わせたDMを送って、お客様の来店を促すことである。

このスキームでは、洗車をしている間に改めて証券診断をすることができるので、証券入手のタイミングで中途更改ができなかった顧客でも、満期にて高確率で切り替えてもらえるはずだ。ぜひご参考にしてほしい。

チームエルの顧客接点体系づくり DM発送代行サービス 「キズナエール」展開中!

チームエルのDM発送代行サービス「キズナエール」では、自動車保険の満期情報をクラウドシステムに入力すると、来店を促すDMを満期日の2ヶ月前に自動的に発送しますので、新規自動車保険を獲得する仕組みを構築することができます。ご関心がある方は「キズナエールオンライン説明会」にご参加ください。

<https://cass.team-l.co.jp/cass/dm/>



筆者プロフィール

株式会社チームエル 取締役CMO。2006年に愛車広場カーリンクのチェーン展開開始と同時に、カーリンク基礎研修の開発に着手、その後も直営店の出張査定センターのマネジメントやディーラーコンサルティングなど、幅広く様々な仕事を経験、2014年からはCaSSの会員制度を立ち上げ、会員向けのサービスや企画を開発。

現役マネージャーいづみの

細うで繁盛記

本連載は経営陣と現場スタッフの間で葛藤するマネージャー、工場長、次期経営者に、現役マネージャーが贈る考え方のヒントです。



第3回 BM問題後の風当たりと対応

みなさまこんにちは! ヤマウチの人見です。ビッグモーター問題が表層化して半年以上経過しました。もはや話題になることも少なくなってきましたが、当時を思い起こすと、なかなかのインパクトでありました。整備業界の仕組みに対し、世間様から厳しい批判を頂戴することとなり、いろいろな気づきを得ただけの半面、不安ばかりを煽る報道に対して「こんなにメカニックさんは真面目に責任をもってお仕事されているのに……」と、歯がゆい思いをした日々でもありました。

とはいえ、ラチェットモンキーは、もとより工場自体が「見学できます」というコンセプトで作られていて、お客様はガラス越しにお車の整備状況をご覧いただける上、「ピットへの出入り自由」としていますから、メカニックからすると「エブリデイ見られている!」という状況でございます。また、ラチェットモンキーの車検は「立ち会い車検」がメインでして、要は日ごろから騙したり悪いことをしたりなんてできない環境が整っているのです。

当時、どんな変化があったっけ?と思い起こしても「舐めるように整備風景を見学するお客様が若干増えたな……」程度でございます。「お前んトコは信用できん!」と、いわれのない辱しめを受けるようなことは一切ございませんでした。それどころか、ご利用くださるお客様がどんどん増えまして、車検利用台数2年前比109%、年間のべ利用台数2万9千台突破という、嬉しい悲鳴(メカニックはガチ悲鳴ですw)を上げた2023年度でありました。

ネットでも、いつもは数えるほどしか出てこないウチの名前が、この時ばかりは、結構な勢いで散見されました。どんなことが書かれているのかとドキドキしながら確認するのですが、嬉しいことに好意的なコメントばかりで、ウチのメカニックに「負けないで!」と応援までしてくださるものもありました(嬉しくてボロボロ泣いたのはナイショw)。

大手損保会社の钣金指定工場にもなっているのですが、保険プロ代理店や事故受け付けセンターより「ラチェットさんの見積りは信用できますから安心

して送客できます」と、常日ごろよりご評価いただいております。過去、アジャスターさんと大きく揉めたこともありません。

けっして自慢したいのではなく、何が言いたいかと申しますと「コツコツしか勝たん!」ということでもあります。後ろ暗いところがあるから「うわぁ!やべえ!! どうしよう!!」となるんです。そしてその焦りは必ずお客様にバシバシ炎上必至なのです。

過剰サービスや過度な値引きをせず、逆に暴利を得ることもしない。正当な労働の対価を頂戴できる商売のスキームをこしらえて順守し、お客様の「なぜ?」にお応えできるよう、接客面でも技術面でもたゆまぬ努力をし続けるのが、まっとうな整備工場なのだと思います。

この「コツコツ」を積み上げていけば、何も恐れることはありません。「私たちは、まっとうな整備工場で仕事をしているんだ!」という矜持を持ち、商売の王道を歩みましょう!



筆者プロフィール 人見いづみ

メカニック全員が退職するという、悪夢のような経験を経て、たった2名からオリジナルブランド「ラチェットモンキー」を立ち上げ、3店舗・年間のべ利用客数28,000人・車検台数6,000を実現。現在は自社開発した予約システム「totoco(とっこ)」を販売しながら、講演活動にも取り組む。

株式会社ヤマウチ

<https://totoco.biz/>



第15回 M&A後の会社の変化

実践M&A

こんな時どうする？
具体的なノウハウを伝授！

フォーバル 寺越基格

今回はディスクローズ、具体的にはM&A契約を終えた後の従業員に開示する場面を中心にお話しました。私自身が体験したその場の雰囲気や譲渡企業の社長が注意すべき点などをお伝えしました。

今回は、M&Aを終えてそこから変わっていった譲渡企業のお話をしたいと思います。

M&Aを終えてから変化が出るまで時間がかかることが多いです。これは、すぐに変化を起こすことで元社長や従業員に動揺が生まれないように配慮しているからです。多くの場合は現状のまま、どうしても変えなければならぬことだけを変えていくケースが多いです。たとえば、上場企業が譲受企業になった場合には、会計処理などを統一する必要があります。

先日、ご連絡をいただいた社長は、M&Aで譲渡してから2年経過していました。譲渡後も社長として残っており、親会社と連携しながら新しい取り組みを考えていました。譲渡して半年後は「何も変わらない」と言っていたのですが、1年経ってからは親会社の支店に行くことも増えて少しずつ連携が増えてきたと感じていました。

そこからさらに1年（M&A成約から2年）経ち、念願だった販売店の新店舗オープンに至りました。もともとは自社でやりたかったことですが、資金力や十分なノウハウがなく諦めていたところで、M&Aである会社のグループに入ったおかげで実現できました。

このようにお互いの信頼関係を築いてから新しく取り組むことが多いため、大きな変化が生まれるまで時間がかかります。

一方、半年程度で変化が起きた会社もあります。整備業（指定工場）を営んでいた譲渡企業が近隣で中古車販売店を営んでいた会社に譲渡したケースです。親会社が指定工場を持っていないため譲渡企業に入庫を移すことで譲渡企業の整備台数が半年で1.5倍になりました。これは分かりやすいケースだと思いますが、譲渡企業としては苦手だった営業活動を強化しなくても入庫台数増加につなげることができました。

ただ、この会社も管理方法などは2年かけて変えています。親会社から譲渡企業へ派遣された方とお話する機会がありましたが、社内のルール

を作ることや変えていくことにはかなり苦労したと話していました。

また他の会社では、M&A後に最初に行ったことは掃除でした。調印式の前からお話していたのですが、まずは従業員みんなで掃除して会社をきれいにしたいと言っていました。その言葉どおり行われたのですが、半年後に見に行くと掃除だけでなく外観・内装などもリニューアルしており、以前とは異なる明るい雰囲気のお店に変わっていました。会社に残っている従業員も何となく表情が明るくなった気がします。

M&Aによる変化は一般的には譲渡企業のほうに配慮されるものばかりです。まったく異なる風土を急に取り入れてもお互い良い関係は構築できません。WIN-WINの関係性を築くことが大切です。



筆者プロフィール

金融機関にて中小企業への融資や経営コンサル・M&A実行支援に従事。株式会社フォーバルへ入社後、自動車整備会社をはじめ多くの中小企業のM&A支援に携わり、企業の存続及び成長に貢献。中小企業の創業理念や従業員への想いを重視し、経営者にしっかりと寄り添うコンサルタントとして、経営者からも厚い信頼を受けている。

事業承継・M&Aのご相談はこちら

株式会社フォーバル

事業承継支援部

自動車アフターマーケットチーム責任者 寺越

TEL:0120-37-4086

<https://forval-shoukei.jp/>





便利なツールの落とし穴？

スマートフォンありきの時代

日常生活がより便利になっていく過程は、コンピュータの進化とともにあったと思う。今から30年ほど前はWindows95が発売されるなど、一般家庭にパソコンが普及していくきっかけとなった。

それが今やどうだろう。この間に爆発的に普及した携帯電話も、もはやいわゆるガラケーからスマートフォンにすっかり様変わりした。インターネットの利用1つ取っても、パソコンからの場合、本体と通信機器の確保が必要だったところが、スマートフォンならそれ単体で事足りてしまう。

そのおかげか、スマートフォンを所有していてもパソコンは所有していないという人も珍しくなくなってきている。かく言う筆者も自宅にパソコンがあるにはあるものの、利用頻度は格段に減っており、さもありませんといったところだ。大昔にパソコンを売っていた人間からすれば、寂しい限りではあるが（そう言ってるお前が使ったらんかい！というツッコミはなしの方向で）。

LINEに求めるものはレスポンスの良さ？

さて、そんなスマートフォン全盛時代だからこそ、一般客相手の商売もそれ前提の対応となるのは自然な流れである。先日、とある整備工場に取材のアポを取る必要があった。通常なら電話連絡で正面突破！というところなのだが、何の縁もゆかりもない工場だったので、こういうケースの場合、電話口に出た方の対応がすべて。確率は五分五分だろうか、何だか怪しい業者が（営業電話を？）掛けてきたぞと怪しまれて、肝心な社長さんにまでたどり着けずに終わるといったパターンもままある。

なるべくならそうした事態は避けたいので何か回避手

段はないかと、やはり今どきならではというか同社のWebサイトをしばし探索。おう、「お問い合わせはLINEのおともだち登録からトークでも結構です」とあるではないか。さっそく二次元コードからともだち登録をし、用件をメッセージで送る。

個人的にLINEを活用している方ならお分かりかと思うが、すぐにも反応があるのでは？という期待をしてしまうのが人情というもの。しかし結局、当日中にはリアクションなし。じゃあ翌朝一番に……もなし。結局翌日いっぱい待っても何のリアクションもなく、ただ時間だけが過ぎていったのだった。

落ち着いて考えてみたら当然で、ビジネスでLINEを活用しているということは、パソコン環境で使っているのだろう。となれば、スマートフォンとは違って、それほどタイミングよく返信ができるとは限らない。専任の担当がいれば話は別だが、そこまで人数に余裕がある整備工場はそれほど多くはないだろう。まあ、あとは急ぎの用件ではないから後回しだと判断されたことは否定できない。

とはいえ、おそらく今回筆者が陥った、「LINEで連絡したのだから、すぐに返事が返ってくるよね」という感覚は、一般客のそれと大差はないはずだ。今回の取材アポの場合は「気長に待つか」で済むけれども、これも一般客の急を要する用件だったとしたらどうだろうか？リアクションが遅かったこと自体がクレームになりはしないか、下手をすれば客離れにまでつながってしまうのではないかと老婆心ながら思った。

良かれと思って行ったことが仇になってしまっただけでも元も子もない。便利なツールを活用することは大いに結構だが、そこに隠れているデメリットにも目を向けて、それを解消し、真にお客のためになることを実践いただければと願うばかりだ。



トヨタ自動車

全国トヨタ販売店

サービススキルコンテスト(一般競技)を開催

トヨタ自動車は4月13日、同社・多治見サービスセンター（岐阜県多治見市）で、全国トヨタ販売店サービススキルコンテストを開催した。

前回の大会より、販売チャネルごとの競技会から系列販売店すべてを対象とした形式に変更された。さらに、今回より新たな進化に向け「店舗総合力の向上へ」というテーマを掲げて、お客様の幸せの量産に向け日常業務で日々積み上げた技術やチームワークを披露する場に設定し、「サービススキルコンテスト」として再出発することになった。

開催された競技は大きく分けて2つ。1つは、エンジニアの「修理技術／対応力」を披露する一般個人競技。日々の現場で起こり得る故障や、お客様の困りごとから出題され、実際の業務に近い形態で実施されるもの。

もう1つは、入社3年以内のエンジニアが日常業務で培った多頻度作業を披露する新人エキシビション。今回初めての試みで、一般的な点検整備と多頻度作業をエキシビション形式で実施する。

一般個人競技は、社内大会を実施したトヨタ販売店が地区大会にエントリーし、地区大会（統一学科競技）の結果をもとに各県／地域（北海道のみ4地域から選出）の成績1位選手50人を選出。さらに各県1位選手以外の全国成績上位者8人を選出した（大会エン



トリーは合計56人）。

競技は前日準備（お客様情報、eケア、修理書などを確認）60分と、受付→作業→お客様説明からなる当日競技80分で競われた。より本人のやりがいやモチベーション向上につなげることを目的に、他者との相対的な比較ではなく、個人の取り組みそのものが報われやすい絶対評価で採点し、金賞・銀賞・銅賞の基準に達した選手に各賞を授与する方式を採用した。

また、新人エキシビションは、全国トヨタ販売店の希望者の中から抽選を行い、18人を選出した。こちらは当日競技のみ（時間は45分）で、一般個人競技と同様に他者と比較せず自身の作業に集中してもらうべく、順位をつけられないエキシビション形式で実施された。他者との比較を問わないため、使用車

両も作業内容も作業ストールごとに異なる設定になっているのも大きな特徴だ。

今回もすべての販売店が対象ということに変わりはないため、北は北海道から南は九州、沖縄まで全国から関係者が応援に駆け付け、声出し解禁となったコンテストで競技を盛り上げた。

また、当日はコンテストのみならず、将来のサービス実現に向けた同社の取り組みを3カテゴリーに分けて展示するTMC展示会や、ドライビングゲーム「グランツーリスモ」を扱ったe-スポーツ体験コーナー、機器工具メーカーや保険会社など関係企業の展示コーナーなど、様々なイベントが同時開催され、大盛況の1日となった。なお、4月27日には同じ会場でBP競技も開催された。



方針を決めるためまずは受付・問診から



聞き取った情報を元に作業を進める



テスターをつなぎその診断結果はどうか？



各項目が完了のたびに花が咲き拍手が起こる



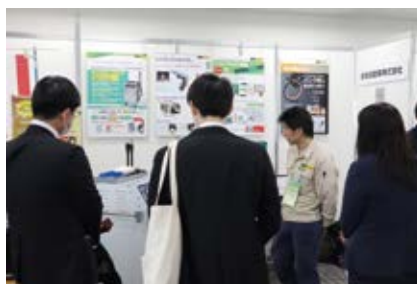
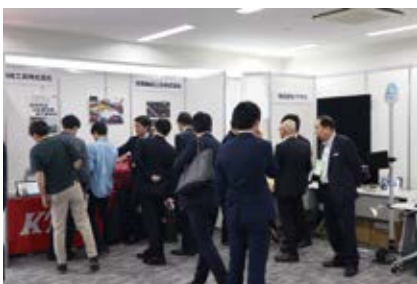
開始を待つ新人エキシビションの面々



きびきびとした動きが実にフレッシュ

同時開催イベントも盛りだくさん

コンテスト会場周辺では様々なイベントを同時開催。こちらも来場者の関心を大いに集めた。



設立当時から社業の発展を支え続ける相棒

T.A.Garage

社長＝竹内佑典 所在地＝熊本県熊本市東区長嶺東8-2-17
使用ソフト＝ラクロスⅡ

CSとESに注力しながら 事業を成長

同じ熊本市内の自動車販売会社から独立し、2018年1月にT.A.Garageを設立した竹内佑典社長。「双子の弟が高校卒業後、就職したのに対し、自分は自動車整備を学ぶため専門学校に進学した。世話を掛けた分、学ばせてもらった自動車整備の知識を活かした仕事で親孝行できればと、自分の店を構えようと思った」。

現在、竹内社長を含めスタッフは4人。新車・中古車の車両販売を中心に事業を展開し、月間約10台の車両を販売する。「ありがたいことに、営業に困らないほど紹介案件が多い」と、口コミで顧客が顧客を呼ぶのが同社の強み。これもしっかりとニーズを聞き出し、顧客の要望に添った車両提案がなせる業だろう。

このように管理顧客が増えると、車検・整備につながる好循環が生まれる。月間の車検台数は平均30台で推移し、「オイル交換を含めると月に100台以上の整備入庫がある」。また、外注対

応となるが、钣金塗装の依頼も受け付ける。さらに昨年、スマートフォン修理のFCに加盟。スタッフの増加に伴う新たな事業として展開し、集客の相乗効果に期待する。

「顧客も大事だが、一緒に働いてくれるスタッフも同じくらい大事」と、ESにも力を注ぐ。会社設立から7年目を迎え、仕事量は増加傾向にあるが、残業はなく全員が定時退社し、プライベートの充実を優先させる。これからも現状に満足することなく、CS及びESの向上に努めていく。

使い慣れたシステムが一番

同社設立と同時に整備システムを導入。「前職の時からプロトリオスのシステムを使用しており、独立開業するに当たり、使い慣れたシステムのほうが不便しいと思った」と、他社と比較検討することなく、導入を決めた。

またリース満了を迎えた際も一切の迷いなく2021年9月、ラクロスⅡにリプレイスした。その間、他社システムの営業提案を受ける機会があったが、「使い慣れたシステムが一番。これか



らもシステムを切り替えるつもりはまったくない」と、うれしい言葉をいただいた。

前職から含め、長年愛用いただいているシステムの評価をたずねると、「他社のシステムを使ったことがないので、自分にとってラクロスⅡが整備システムのスタンダード。不満はなく、すべてにおいて使いやすい」。竹内社長以外のスタッフも使用するが、顧客管理から帳票の出力まで全員がラクロスⅡの機能を使いこなし、業務に役立っている。

またサポートについても、「たとえば簡単な操作の問い合わせであっても親身に対応してくれる。また、遠隔でサポートしてくれるのもありがたい」と評価した。

これからもラクロスⅡは、成長著しい若き経営者の頼れる相棒として社業の発展に貢献していきたい。



竹内佑典社長（右端）とスタッフ



2柱リフトを2基設備し、車検・整備に当たる



前職から含め十数年以上、当社システムを愛用する

あなたに
必要な
システムは

（自動車整備業向け
システム）

（钣金塗装業向け
システム）

好評
発売中!!

どっち?



好評発売中!!

スキャンツールの 基礎知識

スキャンツールでできること
空燃比制御信号を使用した
エンジン診断方法
作業サポート機能で作業を楽に
カスタマイズ機能で愛車を顧客の好みに

スキャン ツールとは

故障診断機能を活用した
トラブルシューティング

故障診断 機能を活用する



『スキャンツール活用講座』

山岡丈夫 著 B5判/168ページ/フルカラー 定価3,630円 (税込・送料込)

2017年からBSRで連載している

「先進技術の知識と整備」に

新しい項目を書き下して1冊にまとめました。

令和3年施行 新点検基準対応!!

実践編

スキャンツール活用

データ表示機能を活用したトラブルシューティング

エアコン整備
自動ブレーキ車の
構造作動と車体整備
ヘッドランプ整備・調整
フロントバンパー交換後の作業

故障診断
データ表示アクティブテスト作業サポート
エンジンの診断
先進技術対応

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店
もしくは弊社までお願い致します。



〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-3-7
TEL : 06-6227-5661 FAX : 06-6227-5664
ホームページ <https://www.proto-rios.co.jp/>

OBD 検査用スキャンツール 【型式試験番号：JASEA-KS-6】

TPM-5 Diagnostic Tool

国産車断トツの**エーミング**対応!!

- VIN (車体番号) 読取りにより自動診断ソフト起動
- 特殊機能から簡易バッテリーチェック機能搭載
- エーミングや DPF 作業手順を一連の流れで行える特殊機能

特殊機能内の機能アイコン



※J2534 モードは J2534 オプションソフト追加購入が必要です。

TPM-5 対応メーカー

国産乗用車：トヨタ・日産・ホンダ・マツダ・スバル・三菱・ダイハツ・スズキ

国産トラック：日野・いすゞ・三菱ふそう・UDトラックス

輸入車：メルセデス・BMW・VW・アウディ・BMW ミニ・アルファロメオ・フィアット

TPM-5 機能項目



検 特

OBD 検査用
スキャンツール 特定整備
認証ツール



OBD 検査用スキャンツール 【型式試験番号：JASEA-KS-9】

TPM-5の機能に
車両情報登録機能を追加した
7インチモニタスキャンツール

TPM-7 Diagnostic Tool

クイック高速起動

国産乗用車・国産トラック・輸入車の診断を
この1台に集約。
ハンドヘルド版ハイエンドモデル

多様なアップデート方法

通常の本体をパソコンに接続してアップデートする方法
に加えイーサネット (LAN)、Wi-Fi、USB メモリでの
アップデートが可能になりました。

検 特

OBD 検査用 特定整備
スキャンツール 認証ツール

株式会社ツールプラネット

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2
TEL 058-246-1733 FAX 058-246-1736
E-mail : toolplanet@toolplanet.co.jp



<https://www.toolplanet.jp/>



突然ですが問題です

2020年4月に生産されたトヨタ・プリウス（ZVW5#系）は、
特定整備（電子制御装置整備）対象車でしょうか？



答えはここに



2024年4月より特定整備認証制度が本格的にスタートする。電子制御装置整備対象車両が入庫した際、どんな種類の整備が必要なのか、どんな設備・環境が必要なのか、それを自社で対応できるのか否か、すばやい判定が求められます。



本書の特徴

車両が入庫した時に開く**クイックチェックガイド**

国産乗用車全9ブランド、**全200車種**のデータを掲載

対象となる**電子制御装置整備の項目数と作業概要**が一目で分かる

各整備に必要な**作業スペース面積、ターゲットパターンの種類、ターゲットスタンド、エイミング方法**を網羅

実際に作業をする時に必要となる、**整備要領書 (Web)** へのアクセス方法も明示

入庫したらすぐチェック!

特定整備 対象車種

対応ガイド

新刊

PROTO RIOS

A4判/296ページ/2色刷り/定価5,500円(税込・送料込)

セット購入はさらにお得!!

620円
OFF

「特定整備対象車種対応ガイド」と
「エイミングデータブック2023」をセットで
購入すると10,300円が**9,680円**に!

エイミング
データブック2023
(フロントカメラ&レーダセンサ)

発行：公論出版
A4判 328ページ
定価4,800円(税込・送料込)

主な内容

- エイミング作業時の設定数値や入力数値などを車種ごとに掲載
- フロントカメラ&レーダーユニット調整値 (ターゲット位置、距離と高さ&設置図/スキャンツール入力数値)
- 国産車168モデル (2020年1月～2023年3月末まで対象/フルモデルチェンジ車、新型車、一部改良車両など)

お問い合わせ・ご注文は、お近くの塗料・機械工具販売店もしくは弊社までお願い致します。



PROTO RIOS
株式会社 プロトリオス



[ホームページ]
<https://www.proto-rios.co.jp/>



[BSRweb]
<https://bsrweb.jp/>